

八代市 S D G s 未来都市計画（案） 補足資料

（各 K P I に係るゴール及びターゲット一覧）

八代市
令和4年11月

1. 1 将来ビジョン

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

(経済)

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|---------|
| 市民一人当たりの市内総生産 | 2017年 | 2030年 |
| | 3,362千円 | 4,349千円 |
| No. | | |
|  <p>8 働きがいも経済成長も</p> | <p>働きがいも経済成長も</p> <p>2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p> | |
| 1 | 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。 | |
| 3 | 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。 | |
| 5 | 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。 | |
|  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> | <p>産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p> | |
| 2 | 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。 | |
| 4 | 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 | |

1. 1 将来ビジョン

(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット
(社会)

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|---|--------|
| 人口社会増減率 | 2020年10月 | 2025年 |
| | ▲0.35% | ▲0.20% |
| 希望出生率 | 2019年度 | 2024年度 |
| | 1.88 | 2.00 |
| No. | | |
|  | すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | |
| 7 | 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。 | |
|  | 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | |
| 3 | 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 | |
| a | 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。 | |
|  | パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する | |
| 17 | さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 | |


八代市SDGs未来都市計画 9ページ

1. 1 将来ビジョン


(3) 2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット

(環境)

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|-----------------|---------------|-------------|
| 住宅用太陽光発電システム普及率 | 2021年3月 | 2030年度末 |
| | 12.90% | 20% |
| 市内温室効果ガス総排出量 | 2013年 | 2030年度 |
| | 1,116千 t -CO2 | 602千 t -CO2 |

| No. | |
|-----|--|
| 7 |  <p>エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> |
| 2 | 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 |
| a | 2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。 |

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|-------------------|------------|---------|
| 一般廃棄物のうち燃えるごみの処理量 | 現在 (2020年) | 2025年 |
| | 33,617 t | 31,854t |

| No. | |
|-----|--|
| 12 |  <p>つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する</p> |
| 5 | 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。 |

八代市SDGs未来都市計画 10ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

①担い手・産業人材の育成（【2030年のあるべき姿1】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|--|---|-------|
| 認定創業支援等事業による創業者数 | 2019年 | 2024年 |
| | 56人 | 80人 |
| No. | | |
|  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> | <p>質の高い教育をみんなに すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> | |
| 4 | 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。 | |
|  <p>8 働きがいも経済成長も</p> | <p>働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p> | |
| 3 | 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。 | |

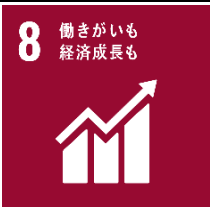

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|--|--|-------|
| 新規農業者数 | 2019年 | 2024年 |
| | 17人 | 40人 |
| No. | | |
| 2 飢餓をゼロに  | 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する | |
| 3 | 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。 | |
| 4 質の高い教育をみんなに  | 質の高い教育をみんなに すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する | |
| 4 | 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。 | |
| 8 働きがいも経済成長も  | 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する | |
| 3 | 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。 | |

八代市SDGs未来都市計画 11ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

②地域での雇用・就労の促進（【2030年のあるべき姿1】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|---|--------|
| 市内高校の新卒者が管内に就職したいと思う割合 | 2019年 | 2024年 |
| | 26.80% | 30.00% |
| No. | | |
|  | 働きがいも経済成長も 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 | |
| 5 | 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。 | |
|  | 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | |
| 3 | 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 | |

八代市SDGs未来都市計画 10ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

③就労ニーズに合う創業・企業誘致の促進（【2030年のあるべき姿1】に向けた取組）


| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|-------|
| 事務的職業及びIT関連職業の求人倍率 | 2019年 | 2024年 |
| | 0.38 | 0.50 |
| No. | | |
|  | 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する | |
| 3 | 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。 | |
|  | 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る | |
| 2 | 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用及びGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。 | |
| 4 | 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。 | |

八代市SDGs未来都市計画 12ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

④移住定住策の充実や情報発信強化（【2030年のあるべき姿2】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|---|--------|
| 転入者数 | 2020年 | 2024年 |
| | 3,771人 | 4,074人 |
| No. | | |
|  | 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する | |
| 3 | 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。 | |

八代市SDGs未来都市計画 13ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑤多文化共生のまちづくりの取組（【2030年のあるべき姿2】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|-------|
| 市内で生活している外国人と関わりが増えてきたと感じる市民の割合 | 2019年 | 2024年 |
| | 32.4% | 36.1% |
| No. | | |
|  | 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する | |
| 2 | 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。 | |
|  | 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する | |
| b | 持続可能な開発のための非差別的な法規及び政策を推進し、実施する。 | |

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑥産業・文化を活かしたまちづくり（【2030年のあるべき姿2】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|------------|
| 観光入込客数 | 2019年 | 2024年 |
| | 2,169,748人 | 2,170,000人 |
| No. | | |
|  | 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する | |
| 9 | 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。 | |
|  | つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する | |
| b | 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。 | |

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑦ 子育てしやすい環境の整備（【2030年のあるべき姿3】に向けた取組）



| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|---|-------|
| 子育てしやすいと感じる人の割合 | 2019年 | 2024年 |
| | 67.0% | 70.0% |
| No. | | |
|  | <p>貧困を無くそう</p> <p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p> | |
| 2 | 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。 | |
|  | <p>すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> | |
| 7 | 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。 | |
|  | <p>質の高い教育をみんなに</p> <p>すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> | |
| 2 | 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。 | |
|  | <p>ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う</p> | |
| 4 | 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。 | |

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑧市民の環境意識の向上と環境保全行動の促進（【2030年のあるべき姿4】に向けた取組）

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|--------|
| 八代市環境センター（エコイトやつし る）施設見学者数 | 2019年 | 2024年 |
| | 2,916人 | 3,000人 |
| No. | | |
|  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> | <p>質の高い教育をみんなに すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> | |
| 7 | <p>2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p> | |
|  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> | <p>安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> | |
| 3 | <p>2030年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加させることにより、水質を改善する。</p> | |
|  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> | <p>つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する</p> | |
| 4 | <p>2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>  | <p>海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> |
| <p>2</p> | <p>2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性（レジリエンス）の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。</p> |
| <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>  | <p>陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する</p> |
| <p>4</p> | <p>2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。</p> |

八代市SDGs未来都市計画 16ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑨ごみの減量と資源循環の推進（【2030年のあるべき姿4】に向けた取組）



| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|---|-------|
| リサイクル率 | 2019年 | 2024年 |
| | 7.5% | 13.8% |
| No. | | |
|  | つくる責任つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する | |
| 2 | 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。 | |
| 3 | 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。 | |
|  | 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する | |
| 1 | 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。 | |

八代市SDGs未来都市計画 17ページ

1. 2 自治体SDGsの推進に資する取組

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組

⑩再生可能エネルギーの普及・利用促進（【2030年のあるべき姿4】に向けた取組）


| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|--|---|-------|
| 住宅用太陽光発電システム普及率 | 2021年3月 | 2024年 |
| | 12.9% | 15.0% |
| No. | | |
|  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> | <p>エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> | |
| 2 | 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 | |
| a | 2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。 | |
|  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> | <p>気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p> | |
| 2 | 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。 | |

2. 自治体SDGsモデル事業


(2) 三側面の取組

①経済面の取組

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|----------------------------|-------|-------|
| 農林水産業の担い手が確保されていると感じる市民の割合 | 2019年 | 2024年 |
| | 14.6% | 15.6% |

| No. | |
|--|--|
| 2 飢餓をゼロに  | 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する |
| 3 | 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。 |

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---------------|---------|---------|
| 市民一人当たりの市内総生産 | 2017年 | 2024年 |
| | 3,362千円 | 3,862千円 |

| No. | |
|--|--|
| 8 働きがいも経済成長も  | 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する |
| 1 | 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。 |

2. 自治体SDGsモデル事業

(2) 三側面の取組

②社会面の取組


| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|---|--|-------------------|
| 子ども女性比 | 2019年 | 2024年 |
| ※15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比。出生率の代替指標 | 20.8% | 25.5% |
| No. | | |
|  | すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する | |
| 7 | 2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。 | |
| 項目 | 策定時点 | 目標 |
| 収穫体験利用者数 | 2019年 | 2024年 |
| | 135人 | (R7) 320人 |
| No. | | |
|  | 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する | |
| 9 | 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。 | |
| 項目 | 策定時点 | 目標 |
| ふるさと納税寄付額 | 2019年 | 2024年 |
| | 355,000 千円 | (R6) 1,000,000 千円 |
| No. | | |
|  | パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する | |
| 4 | 必要に応じた負債による資金調達、債務救済及び債務再編の促進を目的とした協調的な政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国（HIPC）の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。 | |

2. 自治体SDGsモデル事業


(2) 三側面の取組

③環境面の取組

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|-----------------|---------|-------|
| 住宅用太陽光発電システム普及率 | 2021年3月 | 2024年 |
| | 12.9% | 15.0% |

| No. | |
|--|--|
|  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> | <p>エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> |
| 2 | 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 |

| 項目 | 策定時点 | 目標 |
|--------------------------|-------|-------|
| 1人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日) | 2017年 | 2024年 |
| | 843 | 831 |

| No. | |
|---|---|
|  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> | <p>つくる責任つかう責任</p> <p>持続可能な生産消費形態を確保する</p> |
| 3 | 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。 |